

『スーホの白い馬』の草原を渡って —赤羽末吉の人生と絵本

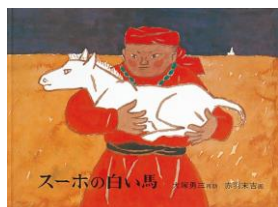


令和2年に生誕110年・没後30年を迎える、赤羽末吉。

彼の画業と人生について、赤羽作品研究の第一人者であり、

家族としてもそばで見守ってきた、赤羽茂乃さんにお話いただきます。

日本を代表する絵本画家の知られざる逸話や、作品に込められた思いなどを伺ってみませんか？



『スーホの白い馬』
大塚勇三再話 赤羽末吉画
福音館書店

日時	令和2年2月22日(土) 午前10時～正午
場所	5-Days こども文化科学館 1階 アポロホール (5-Days こども図書館と併設) ※駐車場はありません
対象	おおむね18歳以上の方
定員	200名(要申込・先着順)

参加申込については、裏面をご覧ください

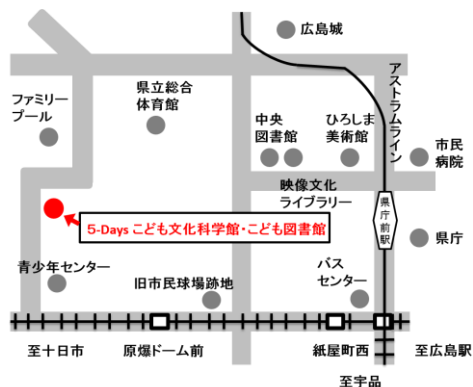
あかばしげの 赤羽茂乃さん(赤羽末吉研究家)

1952年、東京生まれ。1979年、赤羽末吉の三男研三と結婚。11年間にわたり、義父末吉の近くで暮らし、その日常に触れる。末吉他界後、研三とともに、遺された約七千点の原画・スケッチ・資料等の整理に携わる。以降、赤羽末吉の人生、また絵本についての研究を続け、本年4月にその伝記を刊行予定。神奈川県在住。

あかばすえきち 赤羽末吉さん(絵本画家)

1910年、東京生まれ。20代で満州に渡る。勤めのかたわら、満州国美術展に日本画を出品し、3回特選を受賞。1947年、日本に帰国。1961年「こどものとも」58号『かさじぞう』で絵本界デビュー。以後、多数の絵本を手がけ、数々のロングセラーを生み出す。1990年6月8日没。

主な受賞歴は、『ももたろう』(松居直再話 福音館書店)、『白いりゅう黒いりゅう』(君島久子訳 岩波書店)、『スーホの白い馬』(大塚勇三再話 福音館書店)でそれぞれサンケイ児童出版文化賞、『源平絵巻物語 第10巻 衣川のやかた』(今西祐行文 講談社)で講談社出版文化賞、『そら、にげろ』(偕成社)でライブチヒ国際ブックデザイン展金賞など多数。1980年にはそれまでの絵本の業績に対して、国際アンデルセン賞画家賞を受賞した。



申込・問い合わせ 5-Days こども図書館
(広島市こども図書館)

〒730-0011 広島市中区基町5-83

TEL 082-221-6755 FAX 082-222-7020

※申込期間中の休館日 毎週月曜日、1/31(金)、2/12(水)



◇この講演会は、広島市高齢者いきいき活動ポイントの対象事業です◇

参加申込

1月15日(水)午前9時から、こども図書館へ来館、電話、FAX、または図書館ホームページの申込フォームのいずれかでお申し込みください。申込フォームでお申し込みの場合は、参加行事名の欄に「児童文化講演会」と御記入ください。

●託児あり(1歳6か月以上の未就学児、定員3名(先着順))

お子様連れでの入場はできません。託児を希望される方は、申込の際にお申し出ください。

※託児の申込は、2月5日(水)に締め切ります。

児童文化講演会申込書

(FAX・持参用)

ふりがな	
お名前	
電話番号	

託児を御希望の方は、以下も御記入ください。(定員3名、先着順)

お子様のお名前	
お子様の年齢	
郵便番号	
住所	

送信先 FAX 082-222-7020

持参先 5-Days こども図書館(広島市こども図書館)
広島市中区基町5-83

※原則、改めての連絡はいたしませんので、当日直接お越しください。

※お預かりした個人情報は、責任を持って管理し、目的外には使用いたしません。